

発言No. 16

受付No. 6

令和6年11月20日

(4時18分 受付)

一 般 質 問 発 言 通 告 書

議席番号 18番

氏名 佐々木 豊治

答弁を求める者

☒ 市長

☒ 教育長

☐ 監査委員

☐ 選挙管理委員会委員長

(○をつける)

☐ 農業委員会会長

☐ 固定資産評価審査委員会委員長

☐ 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1. 市民生活支援について

(1) 生活困窮者支援について

- ① 浜田市の生活困窮者の相談件数について伺う。
- ② 浜田市の生活困窮者支援の状況について伺う。
- ③ 生活困窮者支援事業の委託先への情報提供や連携について伺う。
- ④ 滋賀県野洲市の取組みから、生活が困難で回復の見込みがない市民には「徴収の停止や債権の放棄」ができるようにするなど、滞納をSOSと捉え、自ら相談できない生活困窮者を市側から発見し、相談者に寄り添いながら、生活再建に向けた取組みが検討できないか所見を伺う。
- ⑤ 野洲市の取組みから、消費者被害の防止のための、訪問販売業者に対する登録制度について所見を伺う。
- ⑥ 野洲市の取組みから、関係機関による「消費者安全確保地域協議会」の設置により、見守りリストを作成した実用的な見守りや、協定した事業者から情報提供してもらう「見守りネットワーク」の取組みについて所見を伺う。
- ⑦ 令和3年から重層的支援体制整備事業（国の事業）の取組みが推進されているが、相談支援の多機関協働事業の、縦割りではなく市全体で情報を共有しながら相談対応する体制整備について、浜田市の取組状況を伺う。

(2) ひきこもり支援について

- ① 浜田市のひきこもりの相談件数について伺う。
- ② 浜田市のひきこもり支援の直近の状況について伺う。
- ③ ひきこもり支援事業の委託先への情報提供や連携について伺う。
- ④ ひきこもり支援については「ひきこもり」は地域社会の問題と、まずは情報発信していくことが重要と思うが所見を伺う。
- ⑤ 野洲市は、ひきこもりを防ぐために、滋賀県と児童生徒の健全育成に係わる連携協定を結び、高校生の不登校などの情報をもらい、支援を行っている。高校に入っても生徒の社会的自立に向け、重要な取組みであり、浜田市での不登校対策として検討すべきと思うが所見を伺う。

2. 選挙投票の支援について

- ① 近年の無効票の状況について所見を伺う。
- ② 投票行為が困難と思われる市民の動向をどのように感じているのか伺う。
- ③ 近年、高齢者や障がい者の投票をサポートする仕組みが大変多くの自治体で導入されていると認識する。

特に、投票所で手助けしてほしい内容を記入する「投票支援カード」と、困っている事を指さしでつたえる「コミュニケーションボード」の設置が多くの自治体で行われている。

少しでも無効票を少なくし、投票しやすい環境をつくるために当市でもぜひとも導入すべきと思いますが所見を伺う。

3. 学校給食費の負担軽減について

- ① 学校給食の無償化については、国の支援の在り方について全国で調査が行われてきたようだが、その結果や今後の動向について所見を伺う。
- ② 浜田市での学校給食費の無償化や負担軽減の取組みについて所見を伺う。